

「トマトとメロン」の授業について

- 1 教材名 トマトとメロン
- 2 主題名 みんな同じがよいのか
- 3 内容項目 A-(3) 向上心、個性の伸長
- 4 ねらい 自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求しようとする態度を育てる。

1～4は指導書より

5 指導過程

(1) 導入 5分

○トマトの絵を見せながら発問する。「トマトは好きですか。」

○メロンの絵を見せながら発問する。「メロンは好きですか。」

発問1 自分をトマトかメロンに例えると、どちらですか。なぜ、そう思うのですか。 ペアで意見交流

発問2 あなたは、トマトまたはメロンのようにになりたいですか。 ペアで意見交流

(2) 展開前半 20分 【資料から道徳的価値を考える】

資料を個人で読む

発問① p46 「トマトもメロンもそれぞれに 自分のいのちを百点満点に生きているんだよ」とは、どういう意味ですか。

発問② p47 「ノイローゼになったり やけのやんばちで 暴れたりしているトマトがいっぱいいるんじゃないかなあ」 なぜ、そうなるのだと思いますか。

(3) 展開後半 20分 【生活を振り返りから道徳的価値を考える】

発問③ 人と比較されることでいやな思いをしたことはありますか。

どんなことか、どのように克服したか。

発問④ 自分のよいところを生かしながら生きるためには、どんなことが大切だと思いますか。

(4) 終末 5分 【授業の振り返りをする】

○授業の振り返りを行い、道徳ノートに○をつける。

○振り返りの4つの項目から一つを選び、具体的にどんなことかを書く。(一行程度でよい)